

令和5年度 学校自己評価及び学校関係者評価表

武蔵村山市立小中一貫校村山学園

経営理念	◎施設完全一体型小中一貫校の特色を生かし、多くの人の関わりの中で様々なコミュニケーションの場を通じて人間力を育成する学校を目指す。 (1) 義務教育9年間を見通して、人間力の育成を図る学校 (2) 施設一体型の特色を生かし、小中一貫教育の推進を図る学校 (3) 地域・家庭との共働により、コミュニティ・スクールとして信頼される学校
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【学校運営協議会・会長】 羽鳥 直美
学校運営協議会（学校評価分） 第1回 7月14日（金）
第2回 10月3日（火）
第3回 2月16日（金）

	経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標	自己評価				学校関係者評価			
				目標値		最終評価		分析コメント(学校関係者評価委員会の意見、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)	改善策(来年度の目標設定、具体記取組目標)	意見	評価点 (4点満点)
				○月 達成値	○月 達成値	達成度	評価				
確かな学力の向上	(中期) 全児童・生徒に対する基礎的・基本的な学力の定着	①東京ベーシック・ドリル診断シートの問題を学期毎に実施し、間違えた問題は見直しして提出させる。 ②2年生以上の算数は、2学級4展開の習熟度別で実施し、少人数指導を行うことによって、授業時間内での定着を図る。 ・授業のユニバーサルデザイン化を図り、分かりやすく授業実践をする努力を徹底する。	・東京ベーシックドリル算数、数学のB評価以上の児童・生徒の割合	75							
				85							
				80							
豊かな心の育成	(中期) いじめ撲滅への取組 (中期) 特別な支援を要する児童・生徒への対応 (中期) 体験学習を基盤にした基礎的汎用能力の育成	①小学部、中学部が連携した生活指導を行う。 ②生徒会本部を中心とした啓発活動を行う。 ①特別支援校内委員会を計画的、定期的を実施して、組織的な対応を行うことで、個々の児童・生徒へのきめ細やかな対応の充実を図る。 ②SCやSSW、巡回相談や教育相談室などの関係機関との連携を図る。 ①一貫校9年間をとおして、発達段階に応じたキャリア教育プログラムを行う。 ②体験学習の計画段階から児童・生徒が主体で行い、多様な人間関係の中で自分を律することを学ぶ。	・学校に安心して登校できる児童・生徒の割合 ・安心して登校させられると回答した保護者の割合 ・一人一人に応じたきめ細やかな対応があると感じる児童・生徒、保護者の割合 ・体験学習等が楽しいと答えた児童・生徒の割合 ・体験学習を通して子供の成長を感じると回答した保護者の割合	90							
				90							
				95							
健やかな体の育成	(中期) 進んで運動しようとする児童・生徒の育成 (短期・中期) 安全教育の推進	①休み時間等の外遊びを奨励し、遊びの中で身体を動かす機会をつくる。 ②なわとび週間や持久走週間、大縄大会などの取組を行い、運動習慣の確立を図る。 ・火災、地震、不審者侵入を想定した避難訓練、引き取り、集団下校の訓練、災害、生活、交通安全に対する安全指導、セーフティ教室、自転車教室、職員救急救命研修により非常時に強い学校づくりを行う。	・進んで運動しようとする児童・生徒の割合 ・非常災害時にどのように避難したら良いか分かるという児童・生徒の割合	85							
				90							
※学校裁量	(中期) ライフワークバランスを基本とした働き方改革の推進 (中期) 講師や地域人材を活用した学習の推進 (中期) 学校からの情報発信による家庭・地域との連携	①連絡アプリを活用し、電話による欠席等連絡を減少させるとともに、配布文書のデジタル化により印刷に係る業務時間を縮減する。 ②教育計画を活用し、起案を最小限にするとともに、発出文書、配布文書を減らす。 ①学校の課題解決に向けた研究のため、研究授業には講師を招聘し、一貫校として系統だった指導を行う。 ②授業において地域人材を活用し、学習支援に当たること、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ①学校日より、学年日より、学級日より及びホームページやTwitterを活用し、計画的に学校の情報を発信する。 ②保護者会や個人面談等では、学校や子供たちの様子などについて分かりやすくまとめた資料を活用し、家庭の理解と協力を得る。	・働き方改革が推進されていると感じる教員の割合 ・学校の課題解決に向けて、有効に講師や地域人材の活用が図れたと感じる教員の割合 ・学校の情報発信に満足していると回答した保護者の割合	80							
				85							
				90							

【達成度】 = [達成値] / [目標値]

【評価】 A：8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定

B：8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施

C：5割未満→目標の見直し

平均値 ####